

2018日本学生陸上競技個人選手権大会

開催日:平成30年6月15日(金)~17日(日)

場所:Shonan BMW スタジアム平塚

種目	名前	学年	記録	着順	備考
1500m	西出 優月	1年	4分45秒00	予選落ち	2組10着(2組 6着+3)
5000m	田中 愛里	4年	16分41秒43	33 (47名中)	タイムレース決勝 1組16着
3000mSC	西出 優月	1年	11分27秒20	22 (24名中)	タイムレース決勝 2組10着

【山本コメント】

1年に2回ある学生陸上競技の全日本大会のひとつである上記大会に、本学女子駅伝部より2名が3種目に出場した。本大会は、種目毎に定められている標準記録を設定期間内に突破した者のみが出場できる大会である。初日は小雨が降って肌寒く、2、3日目も北風が吹いて気温は低く、長距離種目にとっては好コンディションの中でのレースとなり、男女とも大会新記録が続出した。

田中は、就職活動との両立の中でまだまだ本調子ではないが、手応えをつかむレースになったと思う。西出は、大会前の故障でやや準備が不足していた中での1500mと、その1500mをステップにしたうえでの3000mSCだった。3000mSCでは、900m地点の大障害とその後の水濠で二度転倒し心配したが、ゴールまで走りきった。今回は挑戦が裏目に出たが、今後の新たな挑戦に期待したい。

女子駅伝部全体としては、より多くの学生が標準記録を切って本大会に出場できるよう、個々の持ちタイムを上げてチームの底上げを図っていききたい。